

## 武漢事務所便り週間新聞記事報告 2011.01.01-2011.01.01 32号

長江日報より 1月4日付け

### 石榴紅村にテーマパークを建設

1月3日、武漢市林業局より、漢江沿いの石榴紅村に武漢で初めての石榴(ザクロ)テーマパークが建設されたことが発表された。敷地面積は6万平方メートル、投資総額は600万元(1元=12円で換算すると7200万円)で、1月10日に竣工予定である。

東西湖石榴紅村の「グリーンツーリズム」は武漢で非常に有名であるが、村では石榴を見かけることがないため、石榴村が石榴の香りで漂うように、武漢市林業グループがこの公園の建設を決定した。

公園は石榴観賞園、盆栽園、収穫園、珍しい品種の展示園と繁殖園の5つの区域から構成され、各園が漢江沿いに一列に並んでおり、長さは2キロメートル、幅は30～40メートルである。

武漢市林業グループのエンジニア戴氏によると、公園は古代風の建物を模倣し、生態保全にも配慮した設計がなされ、植物は石榴を中心に、タイサンボク、クスノキ、ムクノキ、キンモクセイなど常緑樹が植えられている。また、園内には長さ200メートル、幅5メートルの小川が流れ、小さな橋3本をこの小川にかけて、観光客が石榴林や小川の畔を散歩できる。そのほか、園内には2つの古典建物と7つの古代風のあずまや、1つの彫塑と2つの木製水車等も設置されており、田園の趣が強く感じられる。

公園は1月10日に竣工後、竣工検査を経て、すぐにオープンする予定。

## 全長 91 kmの武漢第三環状線道路が全線開通

### 武漢三鎮は 30 分の交通圏時代に入る

昨日、全長 9.64 kmの第三環状線の東区間が開通した。この第三環状線は、10 年間あまりに渡って、多くの都市建設関係者の努力の末に、ようやく完成した。これで本市の都市高速環状線全線が開通したことになる。今後、この第三環状線を利用すると、武昌、青山、漢口、漢陽の 4 つの区域間の移動にわずか 30 分しかかからず、武漢三鎮まで 30 分でいける交通圏時代に入ったといえる。

第三環状線は全長 91 km、封鎖式で、相互通行の 6 車線の都市高速道路であり、時速 80 kmの走行を想定し建設されている。第三環状線の東区間は東湖風景区の東側の外圏に位置し、北は青化路陸橋から南は武黄陸橋までで、最後に工事施工された区間である。当工事は昨年 10 月に着工され、わずか 15 カ月で開通の運びとなった。

第三環状線の全線開通に伴い、武漢都市高速道路の状況に大きな変化が生じてきた。武漢市の高速環状線は漢口、漢陽、武昌、青山地区をつなげただけではなく、武漢市高速交通網の不足も改善し、武漢経済技術開発区、東湖開発区、呉家山台湾ビジネス投資区及び都市部大型総合ショッピングモールの幹線道路となり、都市内部の貨物運送と交通を集散させる機能を持ち、都市部の交通量減少に効果をもたらしている。

